

製品名: CD62P (16H10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08427**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	91kDa

抗原情報

遺伝子名	SELP
別名	P-selectin; CD62 antigen-like family member P; Granule membrane protein 140; GMP-140; PADGEM; CD62P; SELP; GMRP;
遺伝子 ID	6403.0
SwissProt ID	P16109
免疫原	ヒト CD62P の組み換えタンパク質

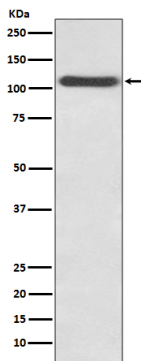
背景

骨髄細胞の $\text{Ca}(2+)$ 依存性受容体で、好中球および単球上の炭水化物に結合する。活性化内皮細胞または血小板と白血球の相互作用を媒介する。認識されるリガンドはシアリルルイス X である。PSGL1 との相互作用を介して、炎症の初期段階で血管表面上での白血球の急速なローリングを媒介する。骨髄細胞の $\text{Ca}(2+)$ 依存性受容体で、好中球および単球上の炭水化物に結合する。活性化内皮細胞または血小板と白血球の相互作用を媒介する。認識されるリガンドはシアリルルイス X である。SELPLG との相互作用を介して、炎症の初期段階で血管表面上での白血球の急速なローリングを媒介する。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)

画像データ



HUVEC 細胞溶解物中の CD62P 発現のウェスタン ブロット分析。